

丹波市音頭

(歌・嶺 陽子)

作詞／炭野 誠・補作詞／秋田 泰治・作曲／足立 知謙

- 一、あびる木漏れ陽 咲くカタクリは そつとうつむき 薄紅さして
あたごまつ 愛宕祭りの あの日の君に 何処か似ている美人花
- ※ソレ みんなおいでな 踊ろうな みんなおいでな 踊ろうな
咲いて氷上は花の町 ソレ たんば たんば
- 二、そよぐ涼風 木の根の橋に あの娘来ぬかと 願うて立てば
すずかぜ 太鼓やぐらの 時打つ音が 俺に任せとドンと鳴る
かいばらじん やまち
- (※繰り返し) 歴史柏原陣屋町 ソレ たんば たんば
- 三、ゆらり吊り橋 二人で渡りや ゆれる笑顔の 川代堤
夏の花火が ドドンと響きや 眠り覚ますか 丹波竜
ねむ さ
- (※繰り返し) 夢の山南ロマン町 ソレ たんば たんば
さんなん まち
- 四、もみじ紅 色鮮やかに 暮れりや夕日に 照る高源寺
くれなゐ いろ 燃える大空 あなたと二人 パラグライダーでランデブー
あおがきにしまち
- (※繰り返し) 染めて青垣錦町 ソレ たんば たんば
- 五、今日はうれしい 二人の門出 秘伝美酒 祝杯あげりや
うまさだけ 十日恵比須も 祝いの鯛を 提げてくるくるえびす顔
さ
- (※繰り返し) 明けて市島繁昌町 ソレ たんば たんば
いちじまはんじょうまち
- 六、山之神湯の 涌く国領で お福偲んで 雪見の酒に
やまのかみゆ 注しつ注されつ ほろ酔い気分 癒す心の里料理
さ
- (※繰り返し) 湯の香春日は味な町 ソレ たんば たんば
かかすが まち

♩ = 115

ハ アー あび るこ もー れび さー くカ タク リ

は そつ と うー つむ き う すべ にさ して

あた ごま つりの あ のひ のき みに どこ かに てい る び じ

ん ー ー ば ー ー な ソ レ

みん なお いーで な お どろ うな みん なお いで な お どろ うな

さい てひ かみ は は な の まち ソ レ たん ば た ー ん ー ば

丹波市音頭

太鼓の音の後、2小節きいて①に入ります



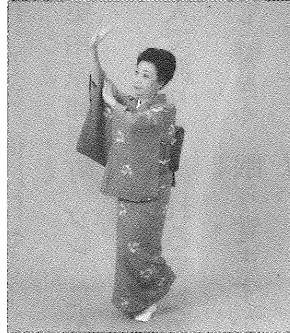
振付：花柳 與桂
表現：花柳 桂美福

①



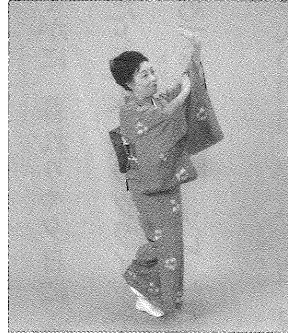
チョチョンのチョン
とうつ

②



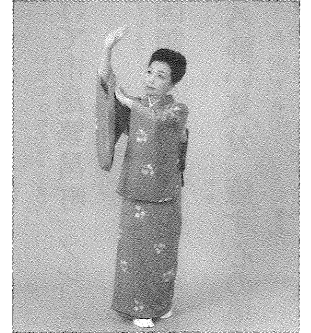
右足より左右と進み
左足を上る
右手あけかざし
左手を右の腕につける

③



左足より右左と進み
右足を上る
左手あけかざし
右手を左の腕につける

④



右足を出し
右手あけかざし
右腕につける

⑤



左足を出し左手あけかざし
右手を左腕につける
④⑤④⑤と6回居まわり
進行方向にもどる

⑥



右足を出し両手を腕に
交差する

⑦



左足を右足にそろえ
両手を広げる

⑧



両手でチョチョンの
チョンとうつ

⑨



右左右と進みながら
両手で右左右と招く

⑩



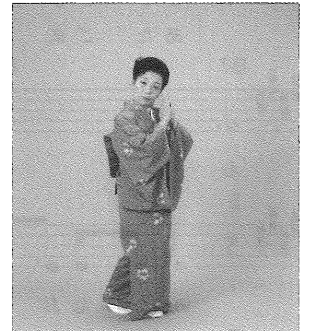
左右左と進みながら
両手左右左と招く

⑪



右左右と足踏し左足を
軽くチョンと弾む様に
揃え両手を右横で
チョンとうつ

⑫



左右左と足踏し右足を
軽くチョンと弾む様に
揃え左横で両手チョン
とうつ